

厚生労働省和歌山労働局発表
令和元年 11 月 29 日

長時間労働の削減等
「働き方改革」に積極的な

担
当

厚生労働省和歌山労働局

労働基準部

監督課長

過重労働特別監督監理官

電 話 073 (488) 1150

F A X 073 (475) 0113

佐藤 明士

平井 裕弥

ベストプラクティス企業の取組を紹介します

和歌山労働局長 ^{いけだ}池田 ^{ますみ}真澄 は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、長時間労働の削減を始めとする「働き方改革」に積極的に取り組んでいるベストプラクティス企業として、太陽シールパック株式会社を訪問し、その取組を実地に視察しましたので、紹介します。

【ベストプラクティス企業・及びその取組】

1 企業の概要

太陽シールパック株式会社

本 社：和歌山市西浜1660-700

事業内容：産業包装資材・機材の製造・販売



2 取組の概要

(1) 時間外労働の削減・年次有給休暇の取得促進

- ・「経営方針書」の作成・配布
- ・仕事の見える化、マニュアル化を推進
- ・残業上限の目標値を設定
- ・業務負担の平準化

(2) 独自の休暇制度等、育児・介護休業の取得状況等

・連続休暇奨励制度

2019年9月から2020年8月に試験実施中の制度。

社内で取り決めた条件に合致する連続休暇を取得した場合、10,000円を支給する。

・直近3年間の育児休業取得実績

3名(2019年10月21日時点)

(3) 働きやすい環境づくり

- ・作業の習熟度を馴染みやすい表現の「習熟度ランク表」を作成し、掲示。
- ・毎日抽選で席を決定する「くじびきアドレスオフィス」を導入。

3 取組の成果

(1) 時間外労働時間(月平均・1人当たり)：20.2時間(2019年8月決算期)

(2) 年次有給休暇の取得率：64.1%(2018年4月～2019年3月)

ベストプラクティス企業の取組

1 企業の概要

太陽シールパック株式会社

(和歌山県和歌山市西浜 1660 - 700 073 - 448 - 4689)

事業内容 産業用包装資材・機材の製造・販売

従業員数 97 名

URL <http://www.taiyosealpack.co.jp/>



2 取組の概要

(1) 時間外労働の削減・年次有給休暇等の取得促進

- ・ 「経営方針書」の作成・配付

全社員に配布し、会社の理念、経営方針や計画を共有。また、会議や研修の日程などの年間スケジュール、事前に申告のあった各社員の連続休暇の日程も記載しており、計画的な休暇取得と休暇中の業務フォローに役立っている。

- ・ 仕事の見える化、マニュアル化を推進

担当業務のローテーション・情報共有強化で仕事見える化し、マニュアル整備を進めることで「特定の社員にしか分からない仕事、できない仕事」を削減。

- ・ 残業上限の目標値を設定

目標値達成のため、徹底的に作業改善や、人員配置・作業分担の効率化を推進。2015年8月からは20時以降の残業禁止とし、2017年8月からは19時30分以降の残業禁止を実施中。突発的な受注増に伴って発生していた休日出勤や遅い時間までの残業がなくなり、プライベートの計画が立てやすくなった。

- ・ 業務負担の平準化。全国5か所の製造拠点間で連携を強化して、広域の業務シェアをすすめ、業務負担の偏りを解消した。

(2) 独自の休暇制度等、育児・介護休業の取得状況等

- ・ 連続休暇奨励制度

今期(2019年9月～2020年8月)試験実施中の制度。社内で取り決めた条件に合致する連続休暇を取得した場合、10,000円の奨励金を支給する。

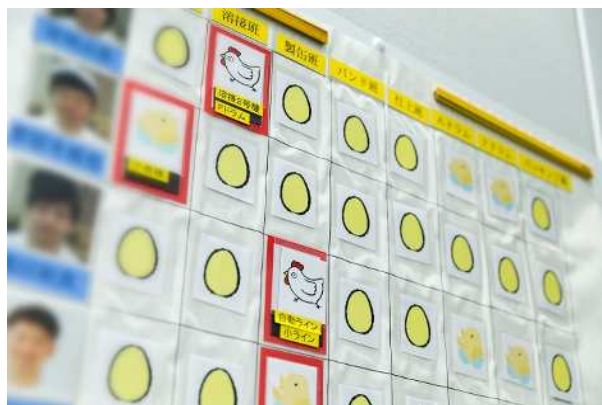
奨励金支給予定者数：91名

奨励金支給実績：26名(2019年10月21日時点)

- ・ 直近3年間の育児休業取得実績：3名(2019年10月21日時点)

(3) 働きやすい環境づくりについて

- ・ 各社員の担当可能作業と習熟度が一目で分かる表を掲示。習熟度のランクは、「たまご→ひよこ→にわとり」と馴染みやすい表現にして、楽しみながらスキルアップ支援やモチベーションアップに役立てている。
- ・ 席を固定せず、毎日抽選で決定する「くじびきアドレスオフィス」を導入。部署を越えたコミュニケーション強化や、書類の属人化防止につながった。



「たまご→ひよこ→にわとり」
習熟度ランク表



社内オフィス風景

3 取組の成果

(1) 時間外労働時間（月平均・1人当たり）

22.6時間 → 20.2時間
(2014年8月決算期) (2019年8月決算期)

(2) 年次有給休暇の取得率

51.7% → 64.1%
(2016年4月～2017年3月) (2018年4月～2019年3月)